北海道クルーズ振興協議会ニュース　2026.6.3

北海道クルーズ振興協議会総会を開催
～クルーズ客船の新規寄港誘致と定点クルーズ定着を目指して～

令和８年５月２１日（木）、札幌第４合同庁舎２階共用会議室において、北海道クルーズ振興協議会第２３回総会を開催しました。

冒頭、協議会会長である北海道運輸局　中村局次長から「クルーズ振興を進めるにあたっては、旅行者の安全・安心の確保を大前提としつつ、環境への配慮や地域との調和、さらには持続可能の可能性といった視点がこれまで以上に重要となっている」と挨拶がありました。

本総会は３１会員機関の出席のもと、令和７年度事業報告と令和８年度事業計画（案）の提案が行われ、満場一致で承認されました。

北海道クルーズ振興
協議会中村会長挨拶

第２部は特別講演として、商船三井クルーズ株式会社執行役員　中嶋一馬様より「クルーズの将来について」と題してご講演をいただきました。

商船三井クルーズ（株）
中嶋執行役員

講師の中嶋様からは、クルーズ人口は年々増加しており、２０３０年までにクルーズ人口１００万人を目指す取組が必要と述べられました。

また、北海道の港湾関係者に対して、北海道は冬場においてはクルーズ船が寄港しづらい状況となっているので、冬場に旅客が楽しめるコンテンツの作成が重要となってくるなどの要望がありました。

今後、北海道クルーズ振興協議会では、今回承認された事業計画に基づきクルーズ振興を進めて参ります。また、関係機関の皆様と連携し北海道を発着する定点クルーズの定着を目指して効果的な寄港誘致に向け、積極的に取組を進めて参ります。